



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
と
学
生
の
ツ
ム
ぐ

第48号

2017年8月23日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.27

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

片葩に「わく算」がもどってきた！

子どもの笑顔がいっぱい



8月23日。わくわく算数教室の後半が始まりました。5年目です。片葩小の夏休みの風物詩と言ってもいいでしょう。5年間、続けている。それも、進化し続けて……。

この日、なんだか感じました。「わく算」がもどってきた！」と。自然な感じでスムーズに、わく算が進んでいました。5年間の積み上げ、システムの構築、本当に尊い教育活動だと思わずにはられません。

時間になると、SPさんがさっと配置につきます。昇降口で笑顔で迎えるSPさん、なかよ

し音楽広場の入り口で場所を指示するSPさん、「こんにちは」と声をかけて雑談をするSPさん、やれることを考えて進んで動くSPさん。スタッフに目を向けると、全体を総括する中村先生、出欠を確認したり、気付かないところをすっと支援する長坂郁美先生、経験の少ない不安そうにしているSPさんに声をかける濱嶋先生（シニアSP）。さらに濱嶋先生は、SPさんに、子どもの情報を伝えて、「こうやって支援するといいよ」というアドバイスを送っていました。SPさんの不安を取り除いていました。



すべての人が、この事業がうまくいくように、子どもたちが気持ちよく学習できるように、いろんなところで配慮しているからこそ、成功があるのでしょう。

今年も、わく算が「片葩小」に、もどってきました！

東浦中学校竹内稔博先生作成の「わくわく算数・数学教室通信第27号」を「ツムぐ学生」用に改編しました。